

# ホホバ 頒布会便り



発行  
毎月一回  
(株)アイリス

七月は、年間で一番紫外線の量が多い時季。

紫外線B波が強い日差しでシミの元となるメラニンを増やし、紫外線A波が、曇りの日でもお肌の老化の八割を占めるといふ「光老化」を引き起こし、シワやたるみを進めていきます。

しっかりと対策してお肌を老化から守りましょう。

## 紫外線A波が

### お肌を老化させる

七月に入り、晴れた日の日差しは強く、このジリジリと照りつける太陽に晒されたお肌は大きなダメージを受けます。

また、外出の時には日傘も差しているから大丈夫、と思っていると、曇りや室内にも入り込む紫外線A波

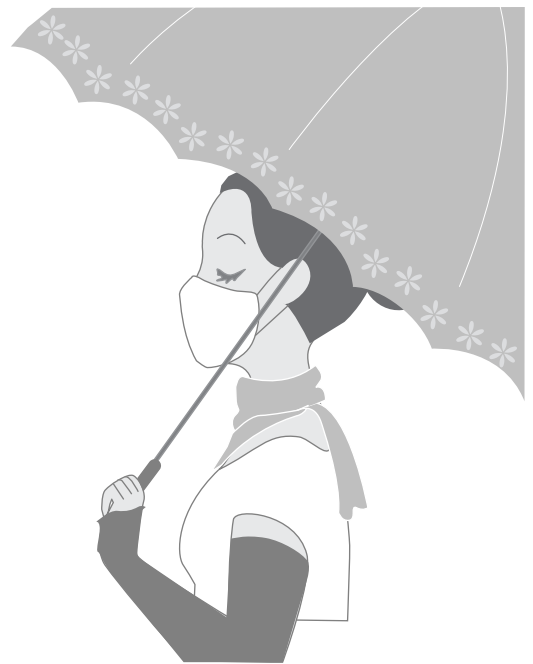
が、気付かない内に少しずつお肌を老化させていきますから要注意。

紫外線A波による光老化を防ぐためにも、紫外線対策をもう一度見直してみましょう。

## マスクの下は

### 汗や摩擦で

マスク生活もすっかり慣れて、お化粧は眉を描く位、という方も多い



ようですが、その場合、紫外線対策は特に注意が必要です。

お化粧をされている場合は、ファンデーションにもUVカット効果が含まれています。素肌の場合にはマスクをしていても、紫外線を完全に防いで

はくれませんし、額から目元、頬や鼻筋、耳の横などの部分は丸裸の状態です。

また、日焼け止めを塗っていても、汗やマスクとの摩擦で、少しずつ落ちてきてしまいますから、こまめに塗り直したり、UV加工してある日傘を使ったり、帽子をかぶる等、プラスの紫外線対策が必要です。

お買い物の行き帰り、洗濯物をベランダに干すちよつとした時間等も、忘れがちですからご注意ください。

# 紫外線を防いで スツキリと快適に

七月の紫外線は、ジリジリと照りつける日差しと暑さのせいで、ついつい陽を浴びなければ大丈夫、と思ってしまうがちです。

しかし、本当に怖い光老化を起こす紫外線A波は、強い日差しがなくとも降り注いでいます。

曇りの日、朝夕、室内の窓辺等も油断は禁物です。

**B波がメラニンを増やし**

**シミの原因の日焼けを**

強い日差しを浴びると、お肌のメラニンが増えて日焼けし、そのメラニンがお肌からうまく排出されないと、シミになってしまいます。

健康なお肌の生まれ変わるサイクルルターンオーバーは、年と共に新陳代謝が遅くなり、時間がかかる様になってメラニンの排出もうまくい

かなくなる事が増えてきます。

まずは、メラニン増加の原因、紫外線B波を浴びないように、日差しを避ける習慣をつけましょう。

**A波がシワ・たるみの**

**原因の光老化を**

お肌が老化する原因は、加齢や摩擦による刺激など色々ありますが、その七〇八割が、紫外線A波の影響

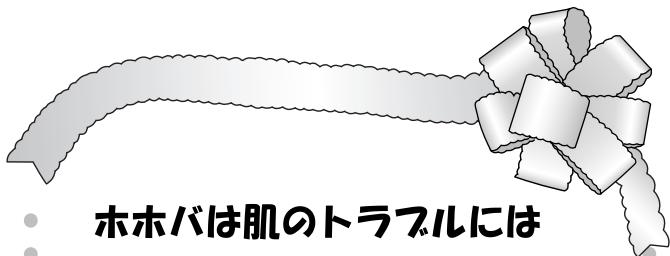
から起こる「光老化」といわれています。

紫外線A波は、深くお肌の真皮層にまで入り込んで、お肌にハリや弾力を生むコラーゲンやエラスチン、ヒアルロン酸を作り出す繊維芽細胞を傷つけてしまい、シワやたるみを引き起こしてお肌を老化させます。

**UVカットで老化を防ぐ**

紫外線を防ぐために、日傘を差し





**ホホバは肌のトラブルには  
何でも使えると聞きましたが、  
虫さされ等にも大丈夫ですか？**

**Q**

ホホバを紹介してくれた友人から、ホホバは肌のトラブルには何でも使えると聞きました。庭仕事が好きなので、ちょっとしたかぶれやすり傷、虫さされ等も多いので、こうした肌トラブルにもホホバが使えると助かるのですが、大丈夫でしょうか。



**A**

ご質問ありがとうございます。仰る通り、ホホバはお肌のトラブル全般にご利用頂けます。ホホバは、自生する南米の半砂漠地域では、古くから民間治療薬として、すり傷・切り傷やけど・虫刺され等、肌のトラブル全般に愛用されてきた歴史があります。どうぞ安心してご利用ください。

◀ たり帽子をかぶったりしても、それだけではやはり不十分。直射日光は防いでも、気付かぬ内に浴びてしまうA波によって光老化が進んでいきます。UVカットできちんと生活紫外線をブロックして、お肌の老化を食い止めますよう。



ホホバUVカット  
30ml  
会員価格1,320円(税込)

**UV加工の日傘や帽子**



マスクをしているから、と日焼け対策を怠っていると、おでこや目元

◀ 等の部分だけが日に焼けてしまったり、日焼け止めを塗っていても、マスクの摩擦で落ちてしまったりする事があるので注意が必要です。UVカットは、マスクで擦れる部分は長時間置かずに塗り直しをする事をおすすめします。UV加工のしてある日傘や帽子も心強いアイテムですから、UVカットと併用し、上手に利用して、紫外線からお肌を守りましょう。